

## 第 10 号議案 中長期方針の時代認識に関する補足決議（原案修正）

「奪い合いと分断・排除の成長社会」から「分かち合いの成熟社会」への  
歴史的転換を担う緑の党へ

現在、経済成長に必要な地球資源は浪費され、限界に近づいています。しかしその中で、限りなき利益を求め、限りある資源を求めて、世界中で自由貿易や暴力的・構造的な収奪・搾取、戦争という「奪い合い」が進み、分断と排除が広がっています。

日本においてはさらに、人口減少・超高齢化が進んで労働力人口が急速に減少し、人口の増大とそれを賄うための社会基盤整備が高度経済成長をけん引した時代とは異なり、経済のこれ以上の大幅な「成長」は見込めない状況にあります。無理な経済成長の希求は、格差の拡大、地域経済の疲弊、地球環境の悪化を、より一層深刻化させることにもつながります。また、社会保障の財源を経済成長による税収増に頼る道は、持続可能ではありません。時代は大きな転換点にあるのです。

私たち緑の党は、経済成長を前提とした「奪い合い」の政治・社会・経済を、「分かち合い」の「成熟社会・定常経済」に、根本的に転換させる必要があると考えます。

そのために、貧困や格差を縮小し生活不安を解消するための富の再分配機能の強化、そのための「公正な負担」による持続可能な社会福祉制度や生活保障の拡充、エネルギーや食糧の地域自給を基礎にした地域循環経済の自立、公正で平和な国際社会の実現と連帯、自然環境の保全と育成など、国内外の全ての人びとが、豊かな自然環境とともに質素でも心豊かに暮らせる社会経済システムへの転換と、それを実現するための政治勢力としての緑の党が必要です。

私たちは、地球の環境と資源が限界に到達しつつあること、そして「永遠の経済成長」が不可能であることを明確に認識し、これ以上の大きな経済成長を追求すべきではないと主張する唯一の政党です。また、私たちは、50年100年先の将来世代への責任を引き受けようとする、最も未来志向的で長期的な視野を持つ政党です。そして、私たち緑の党は、奪い合いの競争や分断から分かち合いの共生への転換を熱烈に求める、最も社会的正義を追求する政党です。

とりわけ、グローバルな競争やナショナリズムの台頭に抗して、ローカル（地域コミュニティ）を基軸とする政治と社会をめざします。人々の幸福は、地域とそこで暮らす人々を基盤としてこそ豊かさを実感できるからです。グローバルな正義・公正、ナショナルな安心・安定、ローカルな幸福・豊かさが私たちのめざす社会ビジョンです。

私たちは、新しい時代の転換点の中で、海外の仲間たちの経験に学び、連携しながら、新しい価値観と社会像を提示し、そのための具体的な政策を提言・実現する政治勢力として自らを位置づけ、その歴史的役割を認識・自覚しながら、活動を強化していきます。

### <付帯決議>

脱成長など経済成長に対する考え方や増税のあり方については今後さらに議論を深めるため、運営委員会に対し党内議論の活性化を要請するとともに、ワーキングチームを設立して議論を進める。必要であればこれらの点での決議の修正を秋の地域代表協議会での決定に委ねることを総会として確認する。